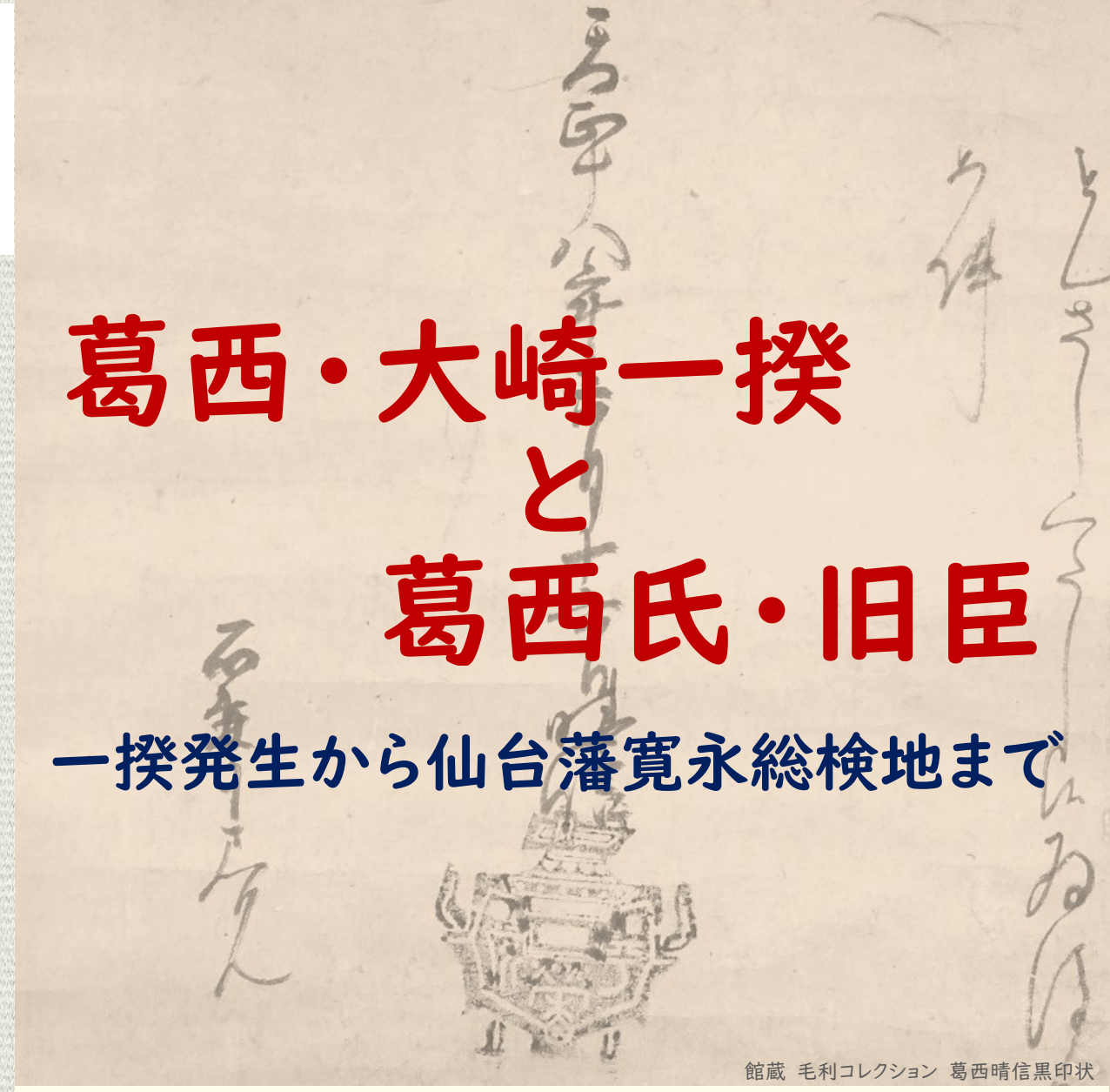
令和六年度 石巻市博物館

博物館講座

葛西・大崎一揆と葛西氏・旧臣

一揆発生から仙台藩寛永総検地まで



館蔵 毛利コレクション 葛西晴信黒印状

令和6年(2024)7月27日(土) 13:30～15:00
(開場 13:00)

会場 マルホンまきあーとテラス 大研修室(定員 80 人、参加無料)
(住所:宮城県石巻市開成 1-8 問合せ:石巻市博物館 0225-98-4831)

講師 石巻市博物館 学芸員 泉田邦彦

講座の内容 ―葛西・大崎一揆をめぐって―

天正18年(1590)7月、小田原北条氏を滅ぼした豊臣秀吉は、翌8月には会津黒川に下向し、奥羽両国の領主たちの本領安堵あるいは没収を決定し、破城・刀狩・検地を強硬に推し進めました。いわゆる奥羽仕置です。奥羽仕置が実施されれると、奥羽では豊臣政権に反発する一揆が各地で蜂起しました。所領を没収された葛西氏・大崎氏の旧領では、旧臣らが蜂起した「葛西・大崎一揆」が発生し、伊達政宗により鎮圧されました。

本講座では、葛西・大崎一揆の経過を、一次史料から復元し、葛西晴信やその一族・旧臣らの動向を追っていくとともに、石巻市須江糠塚で発生した「深谷の役」と呼ばれる事件について取り上げます。

また、葛西・大崎一揆の鎮圧後、新たに葛西・大崎旧領を得た伊達氏と葛西氏旧臣らがどのような関係を築き、彼らは仙台藩の村々に土着していったのか、石巻市域の旧臣を中心に概観を試みます。

令和6年度博物館講座の予定 ※13時30分～15時、大研修室

日程	内容	担当学芸員
8/25(日)	布施辰治と石巻(仮)	伊藤 匠
12/21(土)	アイヌ民族資料を収集する毛利コレクションと杉山寿栄男	泉田 邦彦
3/29(土)	石巻の鋳銭場(仮)	塚本 杏奈